



電話ガイド







Cisco IP Phone 7911G 電話ガイド Cisco CallManager 4.1(3)

Text Part Number: OL-7389-01-J



電話機の一般的なタスク

コールを発信する	番号をダイヤルする前または後に、オフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル]を押します。
コールを保留にする	コールを強調表示し、  を押します。
保留状態のコールを復帰する	保留状態のコールを強調表示し、  を押します。
短縮ダイヤルを使用する	<ul style="list-style-type: none">  を押して、ダイヤルする番号を選択します。  を押して、[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]を選択します。ダイヤルする番号を選択します。 オンフックの状態短縮ダイヤルの番号を入力して、[短縮]を押します。
新しい番号へコールを転送する	[転送]を押し、番号を入力してから、切断します(電話機がオンフック転送をサポートしていない場合は、もう一度[転送]を押します)。
標準の会議コールを開催する	[次へ]>[会議]を押し、参加者にダイヤルします。次に、もう一度[会議]を押します。



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0501R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-7389-01-J



クイック リファレンス



Cisco IP Phone 7911G 電話ガイド Cisco CallManager 4.1(3)

ソフトキーの定義
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
履歴およびディレクトリ
電話機の一般的なタスク








ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
割り込み	共有回線のコールに自分自身を追加する
折返し	話し中または呼出中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに自分自身を追加し、会議コールを開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在のウィンドウを閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	[編集]の使用時に、カーソルの右側にある文字を削除する
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D 転送	2つのコールを相互に転送する
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトにリセットする
終了	前の画面に戻る
G ピック	別のグループで鳴っているコールに応答する
即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	1本の回線上の複数のコールに参加し、会議コールを発信する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する



モニタ	通話をスピーカーで聞く
モニタオフ	モニタ機能を無効にする
次へ	その他のソフトキーを表示する
メッセージ	ボイスメールシステムにアクセスする
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	自分のグループに関連付けられた別のグループで鳴っているコールに回答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピックアップ	自分のグループでコールに回答する
非通知	他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込みしたりできないようにする
品質	コールに関する問題をシステム管理者へ送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
検索	ディレクトリリストを検索する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話スクリーンのアイコン



コールの状態

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	オフフック
	オンフック
	着信コール
	共有回線を使用中





安全なコール

	認証されたコール
	安全なコール





選択された入力デバイス

	ハンドセットを使用中
	スピーカーを使用中(モニタがオンの状態)





重要なコール

	プライオリティ コール
	プライオリティがやや高いコール
	プライオリティが高いコール
	プライオリティが最も高いコール



その他の機能

	短縮ダイヤルが設定済み
	メッセージ受信
	オプションが有効
	機能が有効

ボタン アイコン

	音量
	ナビゲーション
	保留
	アプリケーション メニュー

履歴およびディレクトリ

目的	操作
履歴からダイヤルする	 を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。コールを発信する番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。
社内ディレクトリからダイヤルする	 を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します。文字を入力し、[サブミット] を押します。ダイヤルするには、オフフックにします。



Contents

ソフトキーの定義	1
電話機の一般的なタスク	1
電話スクリーンのアイコン	2
ボタン アイコン	2
履歴およびディレクトリ	2
はじめに	1
このガイドの使用方法	1
追加情報の入手	2
Web 上での電話機のカスタマイズに関する詳細情報	2
安全および使用に関する情報	2
外付け電源装置の使用	4
外部デバイスの使用方法	5
アクセシビリティ機能	5
電話機の接続	6
電話機の概要	9
ボタンとハードウェアについて	9
アプリケーション メニューについて	11
回線とコールの違いについて	12
回線およびコールのアイコンについて	12
機能のアクセシビリティについて	13

基本的なコール処理 14

- コールの発信：基本的なオプション 14
- コールの発信：追加のオプション 15
- コールへの応答 17
- コールの終了 17
- コールの保留と復帰 18
- 複数のコールの切り替え 18
- 複数のコールの表示 19
- コールの転送 19
- 別の電話番号へのすべてのコールの転送 21
- 会議コールの使用方法 22
 - 会議コールのタイプについて 22
 - 標準の会議の開催と参加 23
 - Meet-Me 会議コールの開催または参加 24

応用的なコール処理 26

- 短縮ダイヤル 26
- 自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答 28
- 共有回線の使用 29
 - 共有回線について 29
 - 共有回線のコールへの参加 30
 - 他者による共有回線のコールの表示および参加の防止 31
- パークされているコールの保存と取得 32
- 安全なコールの送受信 33
- 不審なコールのトレース 34
- 重要なコールの優先順位付け 34
- Cisco エクステンション モビリティの使用方法 36

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法	37
ヘッドセットの購入	38
自動応答の使用	38
電話機の設定の使用法	39
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	39
電話スクリーンのカスタマイズ	40
履歴およびディレクトリの使用法	41
履歴の使用法	41
ディレクトリ ダイアル	42
電話機での社内ディレクトリの使用法	43
ボイス メッセージへのアクセス	44
Web での電話機のカスタマイズ	45
ユーザ オプション Web ページへのログイン	46
電話機サービスへの登録	47
その他の設定オプションについて	48
電話機のトラブルシューティング	50
電話機の管理データの表示	51
Quality Reporting Tool の使用	51
索引	



はじめに

次の各項では、Cisco IP Phone を初めて使用する際に必要となる、基本的な情報を説明します。

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
重要な安全情報を参照する	P.2 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。
インストールされた電話機を使用する	P.9 の「電話機の概要」を参照してください。
電話機を接続する	P.6 の「電話機の接続」を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	P.9 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
コールを発信する	P.14 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.18 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
コールを転送する	P.19 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.22 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.26 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.29 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機のスピーカを使用する	P.37 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.39 の「電話機の設定の使用方法」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.41 の「履歴およびディレクトリの使用方法」を参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Web 上での電話機のカスタマイズに関する詳細情報

Cisco IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス (コンピュータを含む) と情報を共有できるネットワーク デバイスです。Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定とカスタマイズ、および電話機の機能や設定の制御を行うことができます。このガイドでは、これらの機能の概要について説明します。詳細な説明については、次の URL で『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

安全および使用に関する情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。

**警告**

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

**警告**

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。

**警告**

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。

**警告**

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートはいずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

**注意**

インライン電源の回路では、通信ケーブルを介して電流が供給されます。シスコが提供するケーブル、または 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。



この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。



この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。



プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。



電源装置は屋内に設置する必要があります。



この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

電源の停止

電話機による緊急サービスへのアクセシビリティは、電話機の電源が投入されているかどうかによって異なります。電源装置が一時的に中断する場合は、電源が元に戻るまでサービスダイヤルおよび緊急コール サービスダイヤルが機能しません。電源の障害または中断が発生したときは、サービスダイヤルまたは緊急コール サービスダイヤルを使用する前に、装置をリセットまたは再設定することが必要な場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

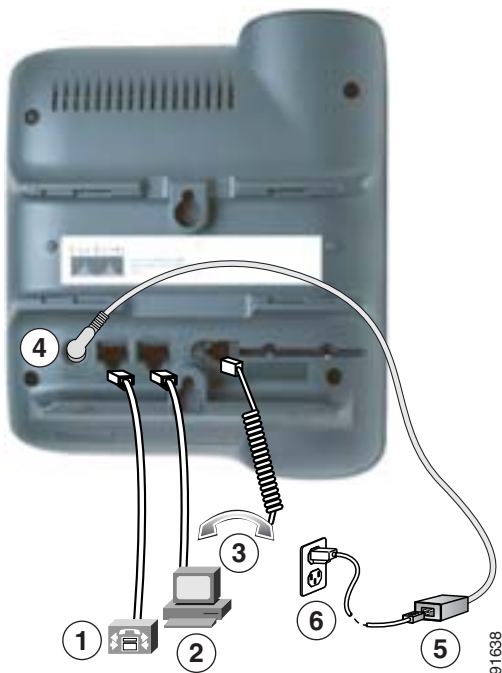
欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠したヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

電話機の接続

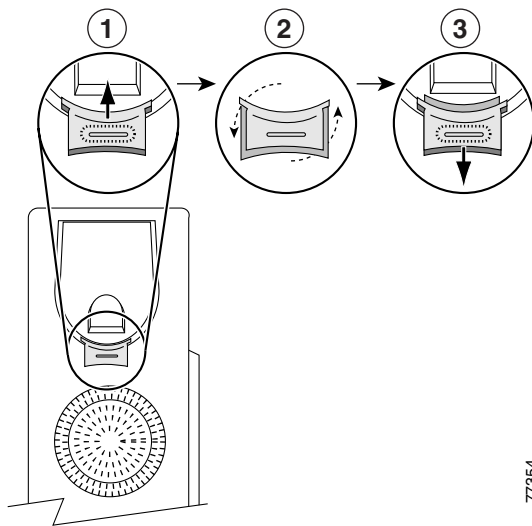
通常は、システム管理者が新しい Cisco IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。



1	ネットワークポート (10/100 SW)	4	DCアダプタポート (DC48V)
2	アクセスポート (10/100 PC)	5	AC-DC電源装置
3	ハンドセットポート	6	AC電源コード

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットが切断されていることを確認してから、ヘッドセットを電話機の背面にあるハンドセットポートに接続します。

ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

シスコシステムズでは、Cisco IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を1つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.5 の「外部デバイスの使用方法」を参照してください。

ヘッドセットのサポートが Cisco IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。詳細については、P.4 の「外付け電源装置の使用」を参照してください。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco IP Phone で使用した場合の音声が良質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

電話機の概要

Cisco IP Phone 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理のほかに、Cisco IP Phone 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次の機能をサポートします。

- ネットワーク データおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。








91016

項目	説明	参照先
1 電話スクリーン	電話機の機能を表示します。	P.11の「アプリケーションメニューについて」およびP.12の「回線およびコールのアイコンについて」
2 Cisco IP Phone シリーズ	Cisco IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3 ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.1の「ソフトキーの定義」
4 ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザの短縮ダイヤルを表示します。	P.11の「アプリケーションメニューについて」およびP.26の「短縮ダイヤル」
5 アプリケーション メニュー ボタン 	表示されるアプリケーション メニューにより、ボイス メッセージ システム、履歴とディレクトリ、各種設定およびサービスにアクセスできます。	P.11の「アプリケーションメニューについて」
6 保留ボタン 	アクティブ コールの保留、保留したコールの復帰、アクティブ コールと保留したコールの切り替えを行います。	P.18の「コールの保留と復帰」
7 キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.14の「基本的なコール処理」
8 音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	P.37の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」
9 ライト ストリップ 付きのハンドセット	ハンドセットのライト ストリップは、着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	P.44の「ボイス メッセージへのアクセス」
10 フットスタンド	机やテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—





アプリケーションメニューについて

電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト ([メッセージ]、[ディレクトリ] [設定] および [サービス]) を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、[選択] を選択します。 または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる (そしてアプリケーションメニューに戻る)	[終了] を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了] を押します。



(注)

 を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。 または [終了] を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合 (たとえば、新しいコールに応答する場合) 電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。









回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大 6 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼出中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼出中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.18 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.29 の「 共有回線について 」を参照してください。
	認証されたコール	P.33 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.33 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。

機能の Availability について




Cisco IP Phone の操作方法および使用可能な機能は、お客様の社内の電話機サポートチームが電話機システムを設定した内容により異なることがあります。このため、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの Cisco CallManager で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の Availability については、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。


基本的なコール処理

この項では、コールの発信、応答、および転送など、基本的なコール処理のタスクについて説明します。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

目的	操作	参照先
コールを発信する	ハンドセットを取り、番号をダイヤルします。	P.9の「電話機の概要」
プレダイヤルする（ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルする）	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> を押して、短縮ダイヤル番号のリストを表示し、1つを選択します。キーパッドで電話番号を入力します。 <p> (注) オンフックでダイヤルする場合、発信履歴ログ内の一致する番号が電話機に表示されます。ダイヤルする番号を選択します。</p> <p>次に、コールを発信するために、次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">ハンドセットを取り上げます。[ダイヤル]を押します。	P.41の「履歴およびディレクトリ使用方法」
オンフックでダイヤルする(ダイヤルトーンあり)	[発信] を押して、電話番号をダイヤルします。	—
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。	—
別のコールがアクティブなときにコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> を押します。[発信]を押します。番号を入力します。	P.18の「コールの保留と復帰」




目的	操作	参照先
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴][着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 2. コールを発信する番号までスクロールし、[ダイヤル]を押します。 	P.41 の「履歴の使用方法」



ヒント

電話番号を間違えて入力した場合は、<< を押して数値を消去します。ダイヤル操作を中止するには、[キャンセル]を押します。

コールの発信：追加のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を押して、短縮ダイヤル番号のリストから番号を選択し、[ダイヤル]を押します。 •  を押して、[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]を選択します。短縮ダイヤル番号を選択し、[ダイヤル]を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 	P.26 の「短縮ダイヤル」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[社内ディレクトリ]を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [検索]を押します。 4. リストからダイヤルするには、番号をスクロールして選択し、オフフックにします。 	P.41 の「履歴およびディレクトリの使用方法」

目的	操作	参照先または問い合わせ先
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	<p>『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』</p> <p>http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.html</p>
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼出中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折返し] を押します。 2. 切断します。内線が応対可能になると、電話機にメッセージが表示され、呼出音が鳴ります。 3. コールをもう一度発信します。 	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールをかける	Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.34 の「重要なコールの優先順位付け」
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > PAB service を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. リストを強調表示し、オフフックにします。 	P.45 の「Web での電話機のカスタマイズ」
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイル を使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[サービス] > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログイン情報を入力します。 	P.36 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げます。次の表に詳細を示します。

目的	操作	参照先
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押します。	P.18 の「コールの保留と復帰」
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	P.18 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムに直接コールを送信する	[即転送] を押します。	P.44 の「ボイス メッセージへのアクセス」
着信コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	P.38 の「自動応答の使用」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークを使用します。	P.32 の「パークされているコールの保存と取得」
自分の電話機を使用して別の電話機で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	P.28 の「自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答」
プライオリティ コールに応答する	[終了] を押して現在のコールを切断してから、[応答] を押します。	P.34 の「重要なコールの優先順位付け」



コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。



目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
スピーカを使用してコールをモニタしているときに切断する	[終了] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるため、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。


目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。そのため、会議コールは保留にしないでください。
- 保留状態のコールは、保留アイコン  で示されます。保留状態のコールが強調表示されている場合、保留ボタン  が赤く点灯します。保留にしていないコールが強調表示されており、回線上に保留状態の別のコールがある場合は、保留ボタンが点滅状態（赤）に変わります。
- 保留できるコールは最大で6つです。この数はシステム管理者の設定によって異なります。

複数のコールの切り替え

電話機で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
接続コールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。もう一方のコールは自動的に保留状態になります。
接続コールから切り替えて呼出中のコールに応答する	[応答]を押します。アクティブコールが保留状態になり、選択したコールが復帰します。

複数のコールの表示



電話機で複数のコールが表示されるしくみを理解することは、コールの処理方法を確認するために役立ちます。


電話機では、強調表示されている回線についてコールが次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間が最も長いコールが、コールのリストの先頭に表示される。
- 同じタイプのコールはまとめて表示される。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾付近にまとめて表示されます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールで、[転送]を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールで、[転送]を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を完了することもできます。</p>


目的	操作
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送）	<ol style="list-style-type: none"> 1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。 2. [選択]を押します。 3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D 転送]を押します（[D 転送]を表示するために[次へ]を押すことが必要な場合があります）。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。 </div>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。コールがボイス メッセージ グリーティングに自動転送されます。アクティブ、呼出中、または保留中であるコールで即転送を使用できます。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または**[転送]**を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、**[転送]**をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- **[転送]**を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。● をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

すべてのコールを転送する機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
回線のコール転送を設定する	[不在] を押して、転送先の電話番号を入力します。
回線のコール転送をキャンセルする	[不在] を押します。
回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 点滅するコール転送のアイコン  が、電話番号の横に交互に表示される。 「転送先」と転送先の番号がステータス行に表示されている。
コール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします。 [すべてのコールを転送] を選択します。 電話番号を選択します。 コールをボイス メッセージにリダイレクトするか、別の番号にリダイレクトするかを選択します。

ヒント

- 共有回線の電話機でコール転送が有効にされている場合、共有回線のすべてのコールが転送されません。
- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力する必要があります。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできますが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送の状態を変更できます。

会議コールの使用方法

Cisco IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議を作成する方法は複数あります。作成方法は、ニーズと電話機で使用できるソフトキーによって異なります。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で使用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに 1 つの回線にある複数のコールに参加して、標準の会議を開催するときに使用します。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、[P.23 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。



Meet-Me 会議コール

Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号に発信することによって作成できます。

手順の詳細については、[P.24 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1つのコールで3名以上の参加者が会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を作成する すでに開催されている会議に新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[会議]を押します（必要に応じて [次へ]ソフトキーを押して、[会議]を表示します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールが接続されるまで待ちます。 4. もう一度 [会議]を押して、参加者をコールに追加します。 5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
すでに存在する2つ以上のコールに参加して、会議を作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 2. 会議に追加するコールを強調表示します。 3. [選択]を押します。 選択したコールで、アイコン  が表示されます。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールのいずれかで、[参加]を押します（必要に応じて [次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します）。 <p> (注) アクティブなコールは、自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込むことにより、会議を作成する	共有回線でコールを強調表示し、[C 割込]を押します（必要に応じて [次へ]ソフトキーを押して、[C 割込]を表示します）。 P.29の「共有回線の使用」 を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者]を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新]を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。


目的	操作
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ]を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除]を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了]を押します。


ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールが異なる回線上にある場合は、[**会議**]または[**参加**]を使用する前に、それらのコールを1つの回線に転送します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を作成した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルすることで会議を開催したり、会議に参加したりできます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開始する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者に問い合わせ、Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 番号を参加者に配布します。 3. 会議を開始する準備ができれば、オフフックにしてダイヤルトーンを聞き、[ミーミー]を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 これで、参加者はダイヤルインすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。</p>

目的	操作
Meet-Me 会議に参加する	<p data-bbox="504 186 1268 219">会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p data-bbox="544 243 1268 349"> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p data-bbox="504 371 1268 404">すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p data-bbox="504 422 1268 487">会議の開催者が切断しても、会議が自動的に終了することはありません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。



短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、インデックス番号の入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤル番号と固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.46 の「[ユーザ オプション Web ページへのログイン](#)」を参照してください。
 - ファーストダイヤルを設定するには、個人ディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.45 の「[Web での電話機のカスタマイズ](#)」を参照してください。
 - または、システム管理者がユーザに代わって短縮ダイヤル機能を設定できます。
-

目的	操作
短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="501 207 1274 272">1. 短縮ダイヤル番号を設定します。P.45の「Webでの電話機のカスタマイズ」を参照してください。 <li data-bbox="501 280 1274 383">2. コールを発信するには、 を押すか、 を押して[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]を選択します。
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="501 391 1274 456">1. 固定短縮ダイヤルコードを設定します。P.45の「Webでの電話機のカスタマイズ」を参照してください。 <li data-bbox="501 464 1274 532">2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮]を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="501 540 1274 638">1. 個人アドレス帳のエントリを作成し、ファーストダイヤルコードを割り当てます。P.45の「Webでの電話機のカスタマイズ」を参照してください。 <li data-bbox="501 646 1274 712">2. コールを発信するには、電話機のファーストダイヤルサービスにアクセスします。

自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼出中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を分担している場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作
自分のコール ピックアップグループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[ピック]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。[ピック]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [ピック] を表示してから押します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[G ピック]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。[G ピック]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [G ピック] を表示してから押します。グループ ピックアップ コードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">[他 Grp]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。[他 Grp]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [他 Grp] を表示してから押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- [**ピック**] および [**G ピック**] を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続されます。
- [**他 Grp**] を押すと、プライオリティが最も高いピックアップグループ内のコールに接続されます。


共有回線の使用

次のような場合、共有回線を使用するようにシステム管理者から求められる可能性があります。

- 複数の電話機を使用しているが、必要な電話番号は1つである場合
- 同僚とコール処理のタスクを分担する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する各電話機には、共有回線で発信および受信されたコールの情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、「プライバシー」を参照してください）。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有するユーザおよび同僚は [**割り込み**] または [**C 割り込**] を使用して、自分自身をコールに追加できます。P.30 の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー


回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。P.31 の「[他者による共有回線のコールの表示および参加の防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて割り込み機能または C 割り込み機能を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます。



目的	操作
共有回線が使用中であるか確認する	リモートで使用中のアイコン  が表示されていることを確認します。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [割り込み] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] を表示します)。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[C 割り込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [C 割り込] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割り込] を表示します)。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話スクリーン上のコールに関する情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議の参加者を追加する	[C 割り込] が使用可能な場合は、このキーを使用してコールに割り込みます。 割り込み機能とは異なり、C 割り込み機能を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P.22 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
割り込んだコールを切断する	切断します。 割り込みを使用した後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。 C 割り込みを使用した後にコールを切断すると、回線に 3 名以上の参加者が残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。

ヒント

- 共有回線を使用中のある電話機でプライバシー機能を有効にしている場合、その回線を共有している他の電話機には、コール情報と割り込み関連のソフトキーが表示されません。
- [割り込み] を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および参加の防止

電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだりするのを防止できます。

目的	操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできないようにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [次へ]>[非通知]を押します。 2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが有効であることを示すアイコン  と「非通知」が表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [次へ]>[非通知]を押します。 2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが無効であることを示すアイコン  が表示されていることを確認します。

ヒント

- 自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線が割り当てられている電話機でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

目的	操作
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[パーク]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[パーク]を表示します）。2. 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。





(注) パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- 認証されたコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- 暗号化されたコール：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- ノンセキュアコール：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールのセキュリティ レベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコール</p> <p> 暗号化されたコール</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、どちらのセキュリティ アイコンも表示されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機でトーンが再生され、「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	各プライオリティレベルにはそれぞれ、ダイヤル対象の Precedence 番号があります。対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機のトーンが聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話スクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティレベルを示します。



目的または状態	操作
コールのプライオリティ レベルを表示する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▣ プライオリティ コール ▣▣ プライオリティのやや高い(即時)コール ▣▣▣ プライオリティの高い(フラッシュ)コール ▣▣▣▣ プライオリティの最も高い(フラッシュ オーバーライド)コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常(ルーチン)です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブコールを終了します。
コールを中断する音が連続的に聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話回線、機能、設定済みのサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルが電話機に採用されます。EM は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[サービス] > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。3. システム管理者によって提供されたユーザ ID と PIN を入力します。4. [サブミット] を押します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[サービス] > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトを求めるプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。

ヒント

- 一定期間が過ぎると、ユーザは EM から自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページで EM プロファイルを変更した場合、新しい内容は、電話機の EM に次回ログインするとき有効になります。
- 電話機でのみ制御されている設定は、ユーザの EM プロファイルでは保持されません。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法

Cisco IP Phone 7911G では、スピーカを使用してハンズフリーで音声を聞くことができます。スピーカは、通話を聞くためだけに使用できます。通話中に会話するには、ハンドセットを取ります。

目的	操作
ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げます。
相手の音声をスピーカで聞く	[モニタ] を押し、ハンドセットを置きます。通話を聞くことはできませんが、話すことはできません。
スピーカをオフにし、ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げるか、[モニタオフ] を押します。
スピーカをオフにし、終了する	[終了] を押します。
ヘッドセットを使用する	ハンドセットを切断し、ヘッドセットをハンドセットポートに接続します。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>この操作によって、使用中の装置（ハンドセット、スピーカ、またはヘッドセット）の音量が調整されます。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>



(注) システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、[**モニタ**] ソフトキーおよび [**モニタオフ**] ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。

ヘッドセットの購入

ヘッドセットの購入については、P.8の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

自動応答の使用




自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が2、3回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者の設定では、自動応答においてはコールへの応答にスピーカが使用されません。ただし、スピーカを使用してユーザが実行できるのは、コールをモニタすることだけです。発信者と通話するには、ハンドセットを取り上げる必要があります。

電話機の設定の使用法

Cisco IP Phone では、呼出トーン、背景イメージ、およびその他の設定を調整できます。



呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。


目的	操作
呼出トーンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[呼出音]を選択します。 2. [選択]を押して呼出音のリストを表示し、呼出トーンを選択するためにもう一度 [選択]を押します。 3. サンプルを聞くには、[再生]を押します。 4. [保存]を押して呼出トーンを設定するか、[キャンセル]を押します。
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど）を変更する	<p>ユーザ オプション Web ページにログインします (P.46 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください)。</p> <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスするには、事前にシステム管理者がユーザのアクセスを有効にすることが必要な場合があります。</p>
呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットが受け台にある状態で、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p>
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.46 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください)。 2. [メッセージ受信のランプポリシーを変更] を選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯して、新しいボイスメッセージがあることが示されます。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。




目的	操作
電話スクリーンの言語を変更する	ユーザ オプション Web ページにログインします (P.46 の「 ユーザ オプション Web ページへのログイン 」を参照してください)。
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[背景イメージ]を選択します。2.  を押して、背景イメージのサムネールをスクロールします。3. [選択]を押して画像を選択します。4. [プレビュー]を押して画像を表示します。5. [保存]を押すか、[キャンセル]を押します。


履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、 を押して、[ディレクトリ]を選択します。

履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が保持されています。

目的	操作
履歴を表示する	 を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]、または[着信履歴]を選択します。それぞれのログに最大 100 件までのレコードを保存できます。リストの省略された内容を表示するには、強調表示して、[編集]を押します。
履歴を削除する	 を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]、または[着信履歴]を選択し、[クリア]を押します。この操作により、すべての履歴からすべてのレコードが削除されます。
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴]、または[着信履歴]を選択します。 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<<または>>を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します（必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します）。 コールを発信するには、オフフックにします。

目的	操作
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴][発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<<または>>を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します（必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します）。 4. [ダイヤル]を押します。 5. 次のいずれかを押して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にします。 - [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。 - [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。 - [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。



ディレクトリダイヤル

設定に応じて、電話機は次のような社内ディレクトリおよび個人ディレクトリの機能を提供します。

- 社内ディレクトリ：システム管理者が設定して保守する社内の連絡先のディレクトリ。
- 個人ディレクトリ：(使用可能な場合) 電話機やユーザ オプション Web ページからユーザによる設定とアクセスが可能な、個人の連絡先および関連付けられた短縮ダイヤルコード。個人ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルで構成されています。
 - PAB は、個人の連絡先のディレクトリです。
 - ファーストダイヤルを使用すると、簡単にダイヤルできる短縮ダイヤル機能用に、コードを PAB エントリに割り当てることができます。
 - 詳細については、P.45 の「Web での電話機のカスタマイズ」を参照してください。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用すると、同僚へのコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. キーボードを使用して、正式な名前または名前の一部を入力します。 3. [検索] を押します。 4. ダイヤルする番号を押すか、その番号までスクロールしてオフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. キーボードを使用して、正式な名前または名前の一部を入力します。 3. [検索] を押します。 4. 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。 5. 次のいずれかを押して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にします。 - [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。 - [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。 - [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント




電話スクリーンに文字を入力するには、キーボードの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、 を押して、[メッセージ] を選択します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの 個人設定を行う	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">• [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。•  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
新しいボイス メッセージの着 信を確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none">• ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.39 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください）。• 電話スクリーン上の封筒アイコン 。
ボイス メッセージを聞く、また はボイス メッセージ メニュー にアクセスする	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">• [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。•  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
ボイス メッセージ システムに コールを送信する	[即転送] を押します。 即転送機能により、コール（呼出中または保留状態のコールを含む） がボイス メッセージ システムに自動転送されます。発信者はボイ ス メッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。

Web での電話機のカスタマイズ

Cisco IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス (パーソナル コンピュータを含む) と情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して、Cisco Personal Communication Assistant (ユーザ オプション Web ページとも呼ばれる) にログインし、ここで Cisco IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ Web ページから短縮ダイヤル番号を設定できます。

この項では、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法、および電話機サービスの登録方法について説明します。設定できる機能および登録できる電話機サービスの詳細については、次の URL で『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

ユーザ オプション Web ページへのログイン

手順

ステップ 1 ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。

ステップ 2 コンピュータで Web ブラウザを起動し、システム管理者から提供された URL を入力してログインします。

ステップ 3 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ（電話機のモデル）を選択します。

選択した電話機に対応したオプションが、コンテキスト メニューに表示されます。

ユーザ オプション ページのナビゲートに関するヒント

- 該当するオプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- コンテキスト メニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。
- ユーザ オプション ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。


電話機サービスへの登録

電話機から登録電話機サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、電話機サービスに登録する必要があります。P.46 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

電話機サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（ファースト ダイアル サービス、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインした後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。 2. [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。 3. 指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. メイン メニューから [Cisco IP Phone サービスの設定] を選択します。 2. [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。 3. 登録内容を変更して [更新] をクリック、または [登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押して、[サービス] を選択します。
電話機サービスの使用方法を確認する	<p>『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。このガイドは次の URL から入手できます。</p> <p>http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm</p>

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表の内容に関連する電話ガイドとその他のマニュアルには、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている(または自分が秘書である)	共有回線を使用することを検討します。	P.29 の「共有回線の使用」を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。	P.29 の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.26) • 共有回線の使用 (P.29) • Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P.36)
自分の電話番号と設定を共有の Cisco IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.36 の「Cisco エクステンション モビリティの使用法」 を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、電話機の一般的な問題をトラブルシューティングするために役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要があります。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
使用するソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• [次へ] を押して、さらにソフトキーを表示させる必要がある。• 回線の状態を変更する必要がある (たとえば、オフフックにするか、接続コール中にします)。• 当該ソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。
[参加] が失敗する	[参加] を使用するには、複数のコールを選択する必要があります。自動的に選択されるアクティブ コール以外に、少なくとも 1 つのコールを選択してください。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[割り込み] を使用して参加したコールから切断された	[割り込み] を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。
[折返し] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

トラブルシューティングの一環として、電話機の管理データにアクセスするようにシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	Ⓜ を押して、[設定]>[ネットワークの設定]を選択し、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	Ⓜ を押して、[設定]>[ステータス]を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	Ⓜ を押して、[設定]>[モデル情報]を選択します。

Quality Reporting Tool の使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするため、システム管理者によって一時的に電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定される場合があります。[品質]を押すと、システム管理者に情報を送信できます。QRT は、設定に応じて次のように使用できます。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する



Index

C

C 割込

使用 30

「割り込み」も参照

CallBack 16

Cisco IP Phone

図 9

登録 7

~の機能設定 13

~のマニュアル 2

ハンドセット受け台の固定 7

Cisco エクステンション モビリティ機能、使用
16

M

Malicious Call Identification (MCID) 34

Meet-Me 会議 22, 24

MLPP、使用 34

Q

QRT、使用 51

T

Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) 7

あ

アイコン、コール状態の 12

アプリケーション メニュー 11

アプリケーション メニュー ボタンの図 10

暗号化されたコール 33

安全上の警告 2

安全なコール 33

え

エクステンション モビリティ

ログアウト 36

ログイン 36

お

オフフック ダイヤル 14

音質 8

オンフック ダイヤル 14

音量ボタンの図 10

か

会議コール

Meet-Me 22, 24

標準 22, 23

回線		～のアイコン	12
コールとの比較	12	～の会議機能	22
説明	12	～の複数の参加者	22
～の説明	12	パーク	32
外部デバイス、使用方法	5	複数の処理	17
		報告、～に関する問題を	51
き		保存と取得	32
キーパッドの説明	10	保留と復帰	18
機能、～のアベイラビリティ	13	モニタリング	37
共有回線		優先順位付け	34
およびリモートで使用中のアイコン	29	呼出中のリダイレクト	28
～の説明	29	コールパーク	17, 32
プライバシーの使用	31	コールピックアップ	17, 28
割り込みの使用	30	コール待機	17
		コール転送	21
く		コールへの応答、オプション	17
グループのコールピックアップ	28	個人アドレス帳 (PAB)、～からダイヤル	16
		固定短縮ダイヤル機能	15, 26
け		し	
警告、安全上の	2	自動応答	17
		社内ディレクトリ	
こ		Web ページからのダイヤル	16
コール		～からダイヤル	15
安全な	33	電話機で使用	43
応答	17	終了、コールの～のオプション	17
回線ごとの最大数	12	使用方法、ヘッドセットの	8
回線との比較	12		
切り替え	18	す	
終了	17	スピーカ、使用	37
転送	19, 21	すべてのコールの転送、～のオプション	21

せ

設定、カスタマイズ 39

た

ダイヤル オプション

基本的な 14

追加 15

短縮ダイヤル

使用 15

設定 26

ち

着信履歴、~のレコード 41

て

ディレクトリ

電話機で使用 41

ディレクトリ、~からダイヤル 15

転送、~のオプション 19

電話回線、~の説明 12

な

ナビゲーション ボタンの図 10

に

認証されたコール 33

は

パーク、コールの 17

背景イメージ、カスタマイズ 40

発信、コールの 14

発信履歴、~のレコード 41

ハンズフリーで音声を聞く 37

ハンドセット

受け台に固定 7

ライトストリップ 10

ふ

ファースト ダイヤル サービス

設定 26

複数のコール、処理 17, 19

不在履歴、~のレコード 41

不審なコール、トレース 34

プライバシー

および共有回線 29

使用 31

へ

ヘッドセット

接続 8

パフォーマンス 8

ほ

ボイス メッセージ、アクセス 44

ボタン、識別 9

保留

および転送 19

保留ボタンの図 10

わ

割り込み

および共有回線 29

およびプライバシー 31

使用 30

ま

マニュアル、アクセス 2

め

メッセージ

~のインジケータ 39

メニュー、使用方法 11

も

モニタリング、コールの 37

ゆ

優先順位付け、コールの 34

よ

呼出音、カスタマイズ 39

り

リモートで使用中のアイコン、共有回線の 29

履歴

~からダイヤル 15

削除 41

~で表示してダイヤル 41

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StrataView Plus, TeleRouter, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2005, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501